

再評価結果

担当課：有料道路課
担当課長名：上野 進一郎

事業名	ひがしかんとう 東関東自動車道 水戸線 (三郷～高谷JCT)		事業区分	高速自動車国道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点	自：埼玉県三郷市番匠免 至：千葉県市川市高谷				延長	20.1 km
事業概要	東京外かく環状道路(外環)は、都心から半径約15kmのエリアを結ぶ全長約85kmの幹線道路で、首都圏の交通混雑の緩和や都心間の円滑な交通確保の実現を目的とする3環状9放射ネットワークを形成する路線である。					
H9年度事業化	S44年度都市計画決定 (S60年度変更)	H9年度用地着手		H9年度工事着手		
全体事業費	約10,095億円	事業進捗率	25%	供用済延長	4.1km	
計画交通量	33,800～48,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業体) 1.0 (残業) 1.6	総費用 (残業)/(事業全体) 5,689 / 9,084億円 事業費：5,490/8,885億円 維持管理費：199 / 199億円	総便益 (残業)/(事業全体) 9,181 / 9,181億円 走行時間短縮便益：8,141 / 8,141億円 走行経費減少便益：581 / 581億円 交通事故減少便益：458 / 458億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C = 1.8 (交通量 +10%)		B/C = 1.5 (交通量 -10%)			
事業費変動	B/C = 1.5 (事業費 +10%)		B/C = 1.8 (事業費 -10%)			
事業期間変動	B/C = 1.7 (事業期間 -1年)		B/C = 1.6 (事業期間 +1年)			
事業の効果等	<p>広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する 日常活動圏の中心都市間へのアクセス向上が見込まれる 緊急輸送道路が通行止めになった場合の代替路線を形成する 他12項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	外環道路の整備は、「走行時間の短縮」「生活道路の安全向上」「大気環境の改善」などの効果はもちろん、大きな経済効果をもたらすものと予測しており、沿線地域における経済の活性化に大きく寄与するものと期待している。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 三郷JCT～三郷南間が平成17年11月供用開始。 一般部も一部供用中。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在工事中。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後も引き続き工事の推進を図る予定。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	継続事業					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>東関東自動車道 水戸線 (三郷～高谷JCT)</p> <p> 供用中区間 事業中区間 </p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。